

奥尻町教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の
点 検 及 び 評 価 報 告 書
(令和2年度)

奥尻町教育委員会

教育委員会における教育行政に関する事務の管理・執行の状況の

点検・評価並びに町議会への報告と町民への公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正に伴い、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされております。

点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図る」ものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等は定めず、各教育委員会が実情を踏まえて決定し、議会や地域住民の指摘を受けて改善していくこととなっております。

奥尻町教育委員会は、地教行法に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、地域住民への説明責任を果たすため、令和2年度において実施した事業を抽出し、点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々による「奥尻町教育委員会外部評価委員」を設置し、同委員から様々なご意見・ご指導をいただき、令和2年度教育委員会の主な事務の管理及び執行状況についての点検及び評価として報告書にまとめました。

令和 3年11月

奥尻町教育委員会

令和2年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
1	奥尻町いじめ不登校対策等委員会 奥尻町いじめ根絶子ども会議	奥尻町内における、いじめ不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取組状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図る。毎年1回12月中旬に各小中学校・高校と共同で実施。	4	10/29 参加教職員町内旅費	B	A
2	奥尻町特別支援教育連絡協議会	奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に於いて、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進する。毎年1回11月下旬頃に開催。	0		B	B
3	「北海道教育の日」協賛事業 教育委員会学校視察	「家庭、学校、地域社会及び行政が一体となって、教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、全ての道民が子どもたちの教育について考え、語り合い、行動する契機とする」という北海道教育の日の趣旨に協賛し、毎年1回11月下旬頃に教育委員により実施している。	0		B	B
4	預かり保育	住民のニーズに沿うよう、保育時間外(午前8時15分から8時30分、午後2時から6時)預かり保育を実施している。平成26年10月より青苗幼稚園においても実施している。 令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化、11月1日から朝の預かり保育を実施。	2,755	臨時職員賃金、消耗品費	B	B
5	奨学資金の貸付	奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。	7,440		C	C
6	土曜授業推進事業	土曜授業を活用し、各教科、領域での体験活動、特に「直接体験」を重視していく。このことにより豊かな人間性や自ら学び考える力を育成できると同時に、従来の5日制よりも児童の負担が少なく日常の学習に取り組むことができる。更に三類型の授業「習得型」「活用型」「探究型」の充実を図ることができる。	0	青苗小学校のみ実施	B	B
7	奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業	奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。	21		B	B
8	奥尻町教育団体連合会運営事業	奥尻町へき地複式教育研究連盟、奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会の教育団体に対し助成を行う。町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。	104	奥尻町教育推進協議会補助金124千円 特別支援学級教育研究会補助金154千円 へき地複式教育研究連盟補助金34千円	B	B
9	小学校社会科副読本製作事業	町内の児童が小学校で使用する副読本の内容を改訂し、郷土教育の充実を図る。	35	軽微な内容修正・増刷費	B	B
10	学習支援ツール(スタディサプリ)導入事業	生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質の向上を図る。	324	一人当たり年額6,000円	B	B
11	奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 中体連卓球全道大会出場事業	体育系の部活動を野球部・女子バレー部・卓球部と3部設置しており、毎年7月に開催される檜山中体連球技大会に参加している。※陸上部はないが、陸上出場選手もいるので参加費等を助成している。	245	陸上0名 野球5名 卓球10名 バレー4名	B	B
12	奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業	文化系活動として吹奏楽部があり、練習活動に励んでいるところであるが、加盟団体である北海道吹奏楽連盟主催の函館地区コンクールが開催されるので、日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高めることを目指す。	0	参加者0人	B	B
13	奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業	外国語(英語)教育において、近年特にコミュニケーションの重要性が叫ばれる中、授業にも生きた英会話、コミュニケーションを取り入れられているところである。	0	奥尻中学校 生徒0名・教員0名参加	B	B
14	ミルク給食	ミルク給食を活用し食育の推進を図る。	1,099	牛乳代 940千円 運搬費 159千円	B	B
15	修学旅行費援助事業(小学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせること、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	564	奥尻小学校 6名 青苗小学校 6名	B	B
16	修学旅行費援助事業(中学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせること、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	680	奥尻中学校 9名	B	B

令和2年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
17	修学旅行費援助事業(高等学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	0	奥尻高等学校 0名	B	B
18	まなびじま奥尻プロジェクト	持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業の課題克服に向け生徒自身が考え行動する。	0	まちおこしワークショップ 奥尻イングリッシュサローン Wi-Fiコーナー 奥尻バブリシティ	C	C
19	奥尻高校島留学生受入推進事業	奥尻高校の生徒数維持・教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。	55,571	生徒募集説明会 オープンキャンパス 受入舎助成 島留学生への補助 寄宿舎運営	B	C
20	スクーバ授業推進事業	離島という特性を生かし、特色ある授業としてスクーバ授業を実施する。	0		B	B
21	外国語教育指導助手招へい事業	外国語教育指導助手を招へいし、小中高の外国語教育の向上を図る。	4,437		B	B
22	準要保護児童生徒認定及び援助事業	就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を町から援助している。	702		B	B
23	各種検診事業	幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。	1,280		B	B
24	GIGAスクール推進事業	高度情報化、グローバル化に対応した教育を行うため、情報モラル教育、利活用スキルの育成を図る。	39,074		A	A
25	全日本春季軟式野球北海道大会出場事業	全道大会の出場権を獲得したため、北海道中学校軟式野球大会へ出場する。	361		B	C
26	島留学生寄宿舎改修事業	町へ譲渡された民間施設を不足する島留学生受入施設として使用するため、部屋数を増やす改修工事を実施。	10,989		E	E
27	学校保健特別対策事業	園児・児童・生徒の安全を守りながら教育を継続して行うため、新型コロナウイルス感染症対策を図る。	11,015		B	B
28	少年の主張発表大会への支援	日常生活の中で、日頃考えていることを広く発表することにより、社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。	0	少年教育の推進	B	B
29	青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコースHokkaido」への支援	中学生リーダーの育成を図る。	0	少年教育の推進	B	B
30	成人式・成人の集い	社会組織の一員となることから、自覚の意識を持たせることを目的とする。	100	青年教育の推進	B	B
31	社会教育団体への支援	PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う	105	青年教育・女性教育・芸術文化振興の推進	B	B
32	社会体育団体への支援	体育協会・スポーツ少年団・町民体育祭実行委員会への支援を行う	340	スポーツ振興・少年教育の推進	B	B
33	第42回児童・生徒書道展	児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。	47	芸術・文化	C	C

令和2年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
34	第42回子ども美術展	児童・生徒に対し絵画の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。	62	芸術・文化	C	C
35	奥尻岬巡りツアー	奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。	0	芸術・文化	B	B
36	児童芸術鑑賞事業	舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。	0	芸術・文化	B	B
37	佐藤義則杯野球大会	郷土の星、福岡ソフトバンクホークス投手コーチ「佐藤義則」氏の功績をたたえとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。	0	スポーツ推進事業	B	B
38	檜山管内スポーツフェスタ(町内開催)	管内で競技を持ち回りながら行っている事業。奥尻町ではゲートボール大会を開催。	0	スポーツ推進事業	B	B
39	檜山管内スポーツフェスタ(町外開催)	管内で協議を持ち回りながら行っている事業。令和元年度はバドミントン競技(せたな町)に参加した。	115	スポーツ推進事業	B	B
40	第43回町民スキー大会事業(中止)	スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。	0	スポーツ推進事業	B	B
41	学校体育館・グラウンド夜間開放事業	身近なところで気軽にスポーツに親しめるよう、学校の体育施設を開放する。	108	スポーツ推進事業	B	B
42	スキー場開放事業	簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。	2,329	スポーツ推進事業	B	B
43	第27回教育長杯グラウンドゴルフ大会事業	誰にでもできるスポーツとして親睦と体力の向上を図るため実施した。	0	スポーツ推進事業	C	C
44	町民スキー教室	スキー技術の向上、競技人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を図る。	50	スポーツ推進事業	B	B
45	おくしりチャレンジスクール	地域の多様な人物、企業等に参画していただき、学校で経験できないような体験事業を年間を通して開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。	0	青少年教育・成人事業	B	B
46	うみいろCafé	図書室の取り組みによる読書活動の推進及び図書室利用者増加。ボランティアによる町民の主体的なまちづくり意識の醸成。	0	青少年教育・成人事業	B	B
47	ブックスタート	親子の健やかな成長の促進、過程を見守る地域の支援体制づくり。家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進。	15	青少年・成人教育事業	B	B
	合計		139,971			

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	いじめ不登校対策	施策内容	児童生徒及び高等学校生徒による、いじめ・不登校等の問題行動等の諸課題に対する具体的な対応方針等についての検討会議を行う。		
事業名	奥尻町いじめ・不登校等対策委員会、奥尻町いじめ根絶子ども会議				
事業実施日	令和2年10月29日いじめ不登校対策等委員会、いじめ根絶子ども会議（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成19年度
目的	奥尻町内における、いじめ・不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取り組み状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図るため。
事業概要	各小中学校の児童生徒の代表者及び奥尻高等学校の代表者により、いじめ不登校対策の事例発表を行い、それについて全体会議及び班毎に討議を行う。
対象者	奥尻町立学校児童生徒及び奥尻高等学校生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費	4	0	12	0	4
費用弁償	4	0	12	0	4

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、いじめ根絶子ども会議は中止となったが、いじめ・不登校等の問題行動について、児童生徒自身が考え、行動する機会を得ることで、問題行動等に対する課題意識の発揚と、未然防止対策につながるようになることから、極めて有意義であると考えます。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業の拡充 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="radio"/> C 改善の上継続 <input type="radio"/> D 事業の縮小 <input type="radio"/> E 休廃止の検討
論評	いじめや不登校は重要な問題であることから、会議回数を増やし対策を検討する必要があるため、事業の拡充を妥当とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育	施策内容	特別に支援を要する児童生徒について協議し、特別支援学級の設置などを判断する。		
事業名	特別支援教育連絡協議会				
事業実施日	令和2年12月17日				

2.事務事業概要

事業主体	特別支援教育連絡協議会
事業開始年度	
目的	奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高校において、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進するため。
事業概要	奥尻町立幼稚園、小学校、中学校、高校の校長及びコーディネーター、そして奥尻町住民課長、保健指導係長、子ども支援係長、函館児童相談所を構成員として、学習障害（LD）多動性障害（ADHD）等を含む障害のある児童生徒に対する支援体制のあり方などを協議・検討する。
対象者	園児・児童・生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費	6	3	16	3	0
費用弁償	6	3	16	3	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	近年、特別な支援を要する子どもたちが増えてきている現状にあることから、こうした組織の必要性、重要性も増してきている状況にあり、現状を維持しつつ、継続すべき事業と考える。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	教育委員会活動	施策内容	教育委員会委員による学校訪問		
事業名	「北海道教育の日」協賛行事 教育委員会学校視察				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	教育委員会委員による学校訪問を行うことで、学校経営や学校での取り組みについて、教育委員会委員へ実情を説明し、意見交換を行うため。
事業概要	基本的に校長が新たに赴任した学校を当該年度において訪問することとし、学校経営等の実情を聞き取りする。また教育委員会委員との意見交換を行う。(奥幼、青幼、奥小、青小、奥中、奥高訪問)
対象者	各学校長・教頭、各幼稚園園長

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育委員会費	0	0	0	0	0
費用弁償	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	B
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、教育委員会委員による学校訪問は、学校経営がどのように行われているかを知る機会となり、それにより教育の方向性等を検討することができるので、有意義であると考えます。また、学校側にとっても学校の現状や課題、要望等について教育委員へ直接伝えることができるため、問題解決のための一助となっている。現状を維持しながら、継続していく必要がある。

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	預かり保育	施策内容	幼稚園の保育時間外に、在園児を幼稚園の施設で預かり、保護者の子育てを支援する。			
事業名	預かり保育					
事業実施日	令和2年4月10日～令和3年3月25日（新型コロナウイルス感染症の影響により5月は受入なし）					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成23年度
目的	幼稚園の保育時間終了後、幼稚園の管理下において希望する在園児を当該施設で預かり保育することにより、保護者の子育てを支援する。
事業概要	幼稚園において通園している園児を対象に、希望があれば、登園時間の15分前から保育時間終了後、預かり保育を行う。
対象者	奥尻町立幼稚園園児（保護者）※青苗幼稚園は平成26年10月より実施。

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開設日数				172	168
利用者延べ人数	4,643	5,283	7,513	3,506	10,888
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
幼稚園保育料 (預かりのみ)	464	528	751	91	175
幼稚園管理費	20,450	14,437	15,678	12,941	13,807
臨時職員賃金	6,459	2,895	4,079	3,928	2,701
消耗品費	734	754	779	58	54

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]	
<table border="1" style="float: left; margin-right: 10px;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td></tr> </table> <p>保護者の子育て支援のため、幼稚園の保育時間終了後預かり保育を実施しているが、保護者のニーズもあり、利用がされている実態にある。平成26年度からは、青苗幼稚園においても預かり保育を始めている。また令和元年10月1日からの幼児教育・保育の無償化により共働き世帯については無償となり、朝の預かり保育（8：15～）についても令和元年11月1日から開始したことにより、より一層利用しやすい環境となった。保護者が働きやすい環境を確保するためにも、今後も事業の継続が必要である。</p>	ランク	B
ランク		
B		

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	後期中等教育・大学教育・専修学校教育	施策内容	高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける			
事業名	奨学金の貸付					
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	昭和63年
目的	奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。
事業概要	高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける
対象者	奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規貸付 人	4	4	6	3	6
新規貸付 千円	1,350	1,440	2,040	1,440	1,440
在学中貸付 人	2	4	5	9	9
在学中貸付 千円	1,200	1,800	2,450	4,451	4,451
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
奨学金	2,550	3,240	4,490	5,891	7,440
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0
奨学資金貸付金	2,550	3,240	4,490	5,891	7,440

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]	
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table> <p>奨学資金貸付条例に基づき事業を展開しており、この間有用な人材を育成し、ある一定の成果をあげてきていると言えるが、一般財源からの貸し付けであり、貸付期間終了後1年後から償還が始まる。卒業後の経済状況などにより、滞納者が相当数存在し、滞納から相当の年月が経過して連絡が困難な事例などがあるため、古い滞納については内容を精査し、回収不能と判断した場合は「奥尻町債権管理条例」に基づき債権の放棄も含めて整理していく。また、経済的理由により、償還が困難な方への納付相談を積極的に行うなど徴収業務の見直しを図りながら、滞納額の縮小に努めて事業を継続する。</p> <p>令和3年度への滞納繰越額：11,964,100円</p>	ランク	C
ランク		
C		

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	各種届け出を確実にを行うことを貸付条件に付すなど、改善の上継続することを妥当とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）	施策内容	文部科学省の「土曜授業推進事業」を活用することで、各教科、領域での体験活動、特に「直接体験」を重視していく。このことにより豊かな人間性や自ら学び考える力を育成できると同時に、従来の5日制よりも児童の負担が少なく日常の学習に取り組むことができる。さらに三種類の授業「習得型」「活用型」「探究型」の充実を図ることができる。			
事業名	土曜授業推進事業					
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立青苗小学校
事業開始年度	平成26年度
目的	直接体験を重視し、より豊かな人間性の育成、学び考える力の育成を図る。
事業概要	土曜日を授業日とすることで、平日5日間の授業の内容を、行事等の練習日等にとられないようになり、平日5日間を有効に活用ことができ、より一層授業の深度を増すことができる。また、土曜授業として地域の人材を活用し、児童に対する地域の学びの場面として提供することができる。
対象者	児童

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
授業実践交流 講師	2	0	0	0	0
	ライフセービング講師				
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費	213	0	0	0	0
報酬	18	0	0	0	0
旅費	51	0	0	0	0
消耗品費	139	0	0	0	0
通信運搬費	5	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	B
	<p>文部科学省の「土曜授業推進事業」について、青苗小学校が採択となり、平成26年度より「試行」ということで実施した。</p> <p>児童にとっては平日5日間で主要教科の一層の充実を図り、土曜授業では、行事等の練習日や地域の人材を活用し、特色ある学びの場面とすることができるなど、効果は大きいと考える。</p> <p>指定事業は28年度で終了したが、町単独で事業の継続を必要とする。</p>

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	生徒指導・非行防止	施策内容	三大祭り等の際に、児童生徒の安全及び非行等がないか見回り活動を行う。		
事業名	奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町校外生活指導連絡協議会
事業開始年度	
目的	奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を旨とする。
事業概要	町内小中高生の生活の実態について共通理解を深め、緊急の事態が起こった場合、学校・理事・保護者が適切に努める。
対象者	奥尻町教育委員会、各小中学校生徒指導担当教諭、児童委員、少年指導員、警察、奥尻町交通安全協会

3.実施状況

指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
会議開催回数		1	1	2	4	2
少年の主張大会への派遣（引率者）	人数	1	1	1	1	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
教育講演会（町P連共催）	講師	金子 耕弼 氏 （HBCラジオパーソナリティー）	白川 清久 氏 （滝川市立西小学校長）	大友 秀人 氏 （北海商科大学教授）	蓮尾 豊 氏 （あおもり女性ヘルスケア研究所長）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
決算額	千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費		100	100	100	100	21
	負担金補助及び交付金	100	100	100	100	21

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	児童生徒の健全育成のための各関係組織が一体となった活動であることから、必要性があるため現状を維持し、継続していく。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	教育団体の育成	施策内容	教育三団体の育成及び活動の充実を図るため、その運営費を助成する。		
事業名	奥尻町教育団体連合会運営事業				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育団体連合会
事業開始年度	
目的	町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。
事業概要	奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会、奥尻町へき地複式教育研究連盟
対象者	奥尻町立学校教職員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
へき地複式教育研究連盟 補助金			33	34	23
特別支援学級教育研究会 補助金	150	180	180	154	43
教育推進協議会 補助金	249	200	200	124	38
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費	399	380	413	312	104
負担金補助及び交付金	399	380	413	312	104

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動は縮小されたが、町内外の教育関係機関との連携や、学校間の交流、公開研究会などを通じて教員の資質向上を図り、もって児童生徒の学力向上などへ資することから、必要な施策と考える。現状を維持し継続する。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	小学校歴史	施策内容	郷土教育を図るため社会科副読本を増刷・修正する。			
事業名	奥尻町社会科副読本製作事業					
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町社会科副読本製作委員会
事業開始年度	
目的	改訂した社会科副読本の増刷・内容修正をする。
事業概要	奥尻町社会科副読本の内容修正・増刷
対象者	奥尻町小学校児童

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内訳					
事務局費	10	10	1	0	1
会議費	1	1	0	1	0
印刷製本費	28	28	21	23	34
旅費	8	8	3	3	0
消耗品費	3	3	1	1	0
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費	50	50	26	28	35
負担金補助及び交付金	50	50	26	28	35

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ランク <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">B</div> </div>	今後も情報の更新や新規対象額年分の増刷予算の確保は必要なものの、大きな改訂はないため、現状のまま継続していく。

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	奥尻高校の生徒が学習支援ツールを使うための補助		
事業名	学習支援ツール（スタディサプリ）導入事業補助金				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成29年度
目的	生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質を向上させる。
事業概要	インターネット接続環境においてスマートフォンやパソコンを利用し動画を視聴することができるサービス。大学別講座や、センター試験対策講座の受講が可能。奥尻高校生徒へのスタディサプリ利用料3分の2を町で補助している。
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数				65	81
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費		164	176	260	324
負担金補助及び交付金		164	176	260	324

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>学習支援ツールを導入することにより、生徒たちの自主的な学習機会の増加が見込め、またツールにより客観的に自身の理解度などを把握できるため、学習の方向性を定めやすくなっており、全体的な学力向上につながっているため、継続した実施が必要と考える。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	檜山中体連に参加することで、日頃の練習の成果を試すとともに、部活動への活動意欲を高める。		
事業名	奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 → 檜山中学校スポーツ交流会				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止のため、代替措置として交流会を令和2年8月1日に実施				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	日頃の練習の成果を試すとともに、全道大会出場権獲得も含め、上位入賞を目標として参加する。
事業概要	中体連に参加することで日頃の練習の成果を試すとともに、活動意欲を高め、体育教育の向上を目指す。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加生徒数					
陸上	11	16	12	11	
野球	19	13	10	11	6
卓球	15	14	12	7	10
バレー	15	17	15	10	4
卓球（全道）				2	
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費	1,306	757	661	789	245
負担金補助及び交付金	1,306	757	661	789	245

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、交流会への参加となったが、部活動の中で最も目標としている檜山中体連出場事業に係る経費であることから、現状を維持し継続することとする。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	吹奏楽部函館地区コンクールへ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高め、吹奏楽部を中核として情操教育の向上を目指す。
事業概要	北斗市かなで〜るにおいて、北海道吹奏楽連盟主催による函館地区吹奏楽コンクールが開催される。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加生徒数	11	8	7	6	
引率教員数	4	2	3	3	
決算額 千円					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費	490	365	399	312	
負担金補助及び交付金	490	365	399	312	

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、日頃の練習の成果を発表する上で貴重な場であることから、現状を維持して今後とも続けていきたい。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	英語暗唱大会へ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立奥尻中学校
事業開始年度	
目的	日々の授業で培ったコミュニケーション能力を発表する機会を与えるため。
事業概要	管内の中学校から選抜された生徒が集まり、英語暗唱大会を実施している。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加生徒数	4	2	1	2	
引率教員数	2	1	1	1	
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費	39	17	9	68	
負担金補助及び交付金	39	17	9	68	

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、英語暗唱大会という、奥尻には開催していないことから、出場することで様々な経験を培えることから、現状を維持しつつ、事業を継続する。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）、義務教育（中学校）	施策内容	ミルク給食を活用した食育の推進を図る。		
事業名	学校給食費				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、ミルク給食を活用した食育の推進を図る。
事業概要	小学校及び中学校においてミルク給食を実施する。
対象者	児童・生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学校給食費	1,773	1,610	1,400	1,238	1,099
需用費	1,631	1,454	1,244	1,079	940
役務費	142	156	156	159	159

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>現在、北海道179市町村で共同調達しており、小売業者から購入するよりも安価な金額で購入が可能である。また、離島という地域性であるため、食材の安定的供給が不確定要素であることから、また給食施設も莫大な経費がかかることから、現行のミルク給食を維持していくことが適切であると考える。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	修学旅行費援助事業				
事業実施日	令和2年9月9日～令和2年9月11日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	小学校の修学旅行費を援助する。
対象者	児童

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者					
奥尻小学校	7	5	8	5	6
青苗小学校	9	5	6	0	6
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費	873	549	539	242	564
扶助費					
奥尻小学校	457	282	308	242	282
青苗小学校	416	267	231	0	282

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも事業を継続する必要がある。また、令和2年度からは小学校間の交流と経費削減のため奥尻・青苗合同で修学旅行を実施している。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	修学旅行費援助事業				
事業実施日	令和2年8月25日～令和2年8月28日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	中学校の修学旅行費を援助する。
対象者	生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者					
奥尻中学校	6	17	22	13	9
青苗中学校	16				
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費費	2,181	1,399	1,760	1,215	680
扶助費					
奥尻中学校	608	1,399	1,760	1,215	680
青苗中学校	1,573				

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	見学旅行費援助事業				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度へ延期				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成28年度
目的	生徒に広い知識、豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	高校の見学旅行費を援助する。
対象者	生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者					
奥尻高等学校	17	9	12	22	0
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費費	812	470	567	915	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかつたが、令和3年度において実施することを継続して検討する。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	高校	施策内容	島ぐるみで高校の魅力化を図る。		
事業名	まなびじま奥尻プロジェクト				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町、奥尻高校
事業開始年度	平成28年度
目的	持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業等の課題克服に生徒自身が考え行動する。
事業概要	まちおこしワークショップ・奥尻イングリッシュサローン・Wi-fiコーナー・奥尻パブリシティ
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	ランク	C	<p>島の課題に生徒自ら挑戦することで、現代で必要とされる課題解決能力を生徒全員が身につけることができる。また、遠隔個別指導を実施することにより、離島というハンディキャップを解消し、地域格差を是正することができている。さらにこうした取組により奥尻高等学校の魅力化が図れ、生徒の確保にもつながっている。プロジェクト開始から5年が経過するため、地方創生推進交付金の活用方法を含め組織体制の検討及びプロジェクトの見直しが必要である。</p>
ランク			
C			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	業務体制の検討など、改善の上継続を妥当とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	奥尻高校の存続のため、高校生徒の島外からの受入を実施する。		
事業名	奥尻高校島留学生受入推進事業				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町・奥尻高校
事業開始年度	平成28年度
目的	奥尻高校の生徒数維持、教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。
事業概要	全国各地での生徒募集説明会の開催（地域みらい留学）、オープンキャンパスの実施、受入宿舍の確保、受入宿舍および島留学生への補助
対象者	島留学生・保護者・島留学生受入宿舍

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
説明会(独自)参加者 人数	33	52	47	17	24
O C参加者 人数	19	36	35	39	33
島留学生(新規) 人数	0	5(3)	16	15	21
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
島留学生関連事業費	639	2,938	169,046	194,350	55,571
旅費	387	420	395	540	108
消耗品費			143	422	616
燃料費			604	1,664	2,292
印刷製本費	87	540	146	147	189
光熱水費			622	2,944	3,744
修繕料			46	196	327
賄材料費			1,596	4,151	6,982
通信運搬費			125	205	219
手数料			352	168	116
火災保険料			55	202	309
委託料		359	15,800	25,093	32,841
使用料及び借上料	165	198	659	617	614
工事請負費			134,287	141,218	605
備品購入費			7,972	10,075	192
負担金補助及び交付		1,421	6,244	6,708	6,417

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>説明会については、大阪・東京において地域みらい留学フェスタに参加する形で行い、北海道内では独自の説明会を函館・札幌で行い、奥尻高校の魅力を全国へ伝える良い機会となっている。また、寄宿舎についても令和元年度に増築工事が終了し、42名入居可能となった。島留学生の受入は高校の存続、奥尻町が抱える担い手不足・過疎化の解決にとっても重要な取組であり、今後も継続して募集や島留学生への支援を行っていく必要がある。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	舎監を含めた寄宿舎における生徒のサポート体制の検討など、改善の上継続を妥当とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	特色ある取組みとしてスクーバ授業を実施する		
事業名	スクーバ授業推進事業				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻高校
事業開始年度	平成7年度
目的	奥尻のきれいな海を知ることによって郷土愛を育み、ダイビングスキルを身に付けるとともに防災意識・環境保全の意識の向上を目的とする。
事業概要	スクーバダイバー講習、アドバンススクールダイバー講習、潜水技術基礎訓練等を実施。またそれらに使用する機材の更新、保守など
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
Cカード取得	10	6	8	19	0
アドバンス取得	7	10	6	8	0
潜水土	0	1	4	2	0
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人材育成費	1,500	2,570	5,091	3,535	0
委託料	0	1,796	3,136	3,535	0
備品購入費	0	774	1,955	0	0
負担金補助及び交付金	1,500	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、奥尻島の美しい海でスクーバダイビングを体験し、島の美しさを再認識することができ郷土愛が育まれる。また、漁業後継者、観光業従事者等の人材育成につながることや、生徒募集のPRとしても有効であることから、今後も継続した事業実施に努める必要がある。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	外国語教育	施策内容	外国語教育指導助手を招へいし、小中高における外国語教育を推進する。			
事業名	外国語教育指導助手招へい事業					
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成29年度
目的	JETプログラムにより、外国語教育指導助手を招へいし、町内各学校の外国語（英語）教育において、ネイティブスピーカーによる指導をすることにより、児童生徒の外国語（英語）能力の向上を図る。
事業概要	小中高に外国語教育指導助手を派遣し、外国語（英語）の授業の補助をする。
対象者	奥尻町立学校児童生徒

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人数		1人	1人	1人	1人
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費		3,386	3,209	4,140	4,437
報酬		2,689	2,475	3,735	4,053
費用弁償		141	52	0	22
普通旅費		61	134	56	0
燃料費		2	7	11	15
通信運搬費		27	0	0	0
自動車保険料		7	7	8	8
車借上料		147	221	223	223
負担金		312	313	107	116

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	既に小学校の段階から外国語教育が導入されており、そのなかでネイティブスピーカーによる外国語指導の実施によって「話す」「聞く」能力の向上が図られるため、事業を継続する。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小・中学校）	施策内容	就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を町から援助している。			
事業名	準要保護児童生徒認定及び援助事業					
事業実施日	令和2年7月（前期）、令和2年10月（後期）、令和3年2月（新入学児童生徒）					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成23年度
目的	奥尻町内における小・中学校に在籍する就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる必要の一部を援助する。
事業概要	就学援助費の支給を受けようとする者は小・中学校を通して教育委員会に認定申請書を提出し、認定を受けた保護者に対し、就学援助費を支給する。
対象者	奥尻町立学校児童生徒の保護者

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
奥尻小学校	3	3	3	2	4
青苗小学校	4	2	2	1	3
奥尻中学校	1	7	5	4	4
青苗中学校					
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費	19,037	12,351	9,924	7,534	9,052
準要保護児童学用品等援助費	772	738	544	520	702

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を援助することによって経済的負担を軽減することができ、児童及び生徒自身も安心して就学することができるため、今後も継続して行っていく必要がある。また、令和元年度から新入学児童生徒学用品費を入学前に支給したことによって、より一層保護者の経済的負担を軽減することができた。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	幼稚園・義務教育・高等学校	施策内容	幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。			
事業名	各種検診事業					
事業実施日	学校検診、教職員検診11月					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成元年以前
目的	幼児・児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。
事業概要	学校検診では内科・歯科・心臓検査他8項目検診を行う。教職員検診は例年秋に実施。
対象者	幼稚園児・児童生徒・教職員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学校検診 (人)	1038	1020	985	940	925
教職員検診 (人)	59	51	47	51	59
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
検診費	2,079	1,839	1,852	1,763	1,280
学校検診	1,047	989	1,013	967	655
教職員検診	1,032	850	839	796	625

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図ることによって、学校教育の円滑な実施につながる事となるため、現状のまま事業の継続が必要である。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	全校	施策内容	I C T教育機器を活用し、教育の質向上を図る。		
事業名	GIGAスクール推進事業				
事業実施日	令和2年4月1日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立学校
事業開始年度	令和2年度～
目的	高度情報化、グローバル化に対応した教育を行うため、情報モラル教育、利活用スキルの育成を図る。
事業概要	各小中学校児童生徒及び教員向けのタブレット端末の整備、また全学校の普通教室に無線LAN環境を整備することでICT活用教育の推進を図る。
対象者	奥尻町立学校児童生徒・教職員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
タブレット端末 台数					212
無線LAN環境					全校普通教室全域
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局費					
工事請負費					26,620
備品購入費					12,454

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]	
ランク A	情報化やグローバル化が進み、将来の予測が困難な時代を前に子どもたちは、社会の変化に対して受け身で対処するのではなく、主体的に関わっていく力が必要である。I C T教育を通し、アクティブラーニングの推進、個の学習ニーズに応じた個別最適な学びを実現するため、今後は、整備されたタブレット等の有効活用を図っていくための教材整備などが必要である。

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	教材の整備など、事業の拡充を妥当とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	北海道中学校軟式野球大会へ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	令和2年度全日本春季軟式野球北海道大会出場事業				
事業実施日	令和2年9月18日～9月22日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	函館支部大会を勝ち抜き、全道大会の出場権を獲得したため、北海道中学校軟式野球大会へ出場する。
事業概要	砂川市で開催される北海道軟式野球連盟主催による北海道中学校野球大会へ出場する。
対象者	奥尻町立奥尻中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加生徒数					
野球					5
決算額 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育振興費					
負担金補助及び交付金					361

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>日頃の練習の成果を十分に発揮し、生徒たちにとって、全道で強豪校相手に堂々と試合に臨むことができ、多くの達成感を得る経験となっており、今後の活動も期待されるため、継続した助成が必要となる。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	補助を行う大会を精査するとともに、他競技などへの補助も検討することとし、改善の上継続を妥当とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	建築	施策内容	島留学生寄宿舎の部屋数を増やす工事を実施		
事業名	島留学生寄宿舎改修事業				
事業実施日	令和2年10月28日～令和3年3月25日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町
事業開始年度	令和2年度
目的	町へ譲渡された民間施設を不足する島留学生の受入先として使用するため、部屋数を増やす改修工事を実施。
事業概要	寄宿舎を改修
対象者	島留学生

3.実施状況

指標	千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
島留学生寄宿舎改修工事						10,989
決算額	千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地方創生臨時交付金						
手数料						33
委託料						1,936
工事請負費						8,518
備品購入費						502

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	E
	島留学生の受入には寄宿舎等が不可欠であるが、令和3年度の島留学生の受入部屋数が不足していたため、民間譲渡を受けた施設を改修し、不足する部屋数の確保を図り、安定した受入体制が整った。令和2年度において工事が完了したため終了とする。

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、休廃止の検討とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	山崎 和範	担当	井田 憲太
領域	学校保健	施策内容	感染症対策		
事業名	学校保健特別対策事業				
事業実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町
事業開始年度	令和2年度
目的	園児・児童・生徒の安全を守りながら教育を継続して行うため、新型コロナウイルス感染症対策を図る。
事業概要	学校や幼稚園の新型コロナウイルス感染症対策
対象者	全園児・児童・生徒

3.実施状況

指標	千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学校保健特別対策事業						9,068
幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業						1,947
決算額	千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
マスク等購入支援事業						69
学校再開支援事業						8,999
幼児教育緊急環境整備事業						1,947

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>各学校や幼稚園における感染症対策のため消毒液などの購入、熱中症や換気対策のためのエアコンと空気清浄機等を購入することにより、園児・児童・生徒が安心して学習できる環境を整備することができた。令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が続くため、継続した対応が必要である。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	青少年教育				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	少年の主張発表大会への支援				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 北海道檜山振興局 (後援) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	日常生活の中で体験し、日頃考えている事を広く発表することにより、自らが社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。
事業概要	中学校から2名弁論会により選考し、管内で行われる檜山地区大会弁論大会に参加する。
対象者	奥尻中学校生徒(2名)

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加人数 人	2	2	2	2	—
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	12	10	10	21	0
負担金	12	10	10	21	0

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につける事業として必要であると判断する。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	青少年教育				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	ネイバル森主催事業「ジュニアリーダーコースHokkaido in 森」への支援				
事業実施日	学校行事と日程が重なったため不参加				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) ネイバル森 (共催) 檜山教育局
事業開始年度	平成17年度
目的	地域課題の解決や地域振興に取り組む人の思いや活動を知り,自分の住む町のこと(自分事)として捉え、地域の良さ(価値)に気づき「地域を誇れる気持ち」を育む。
事業概要	檜山管内の中高校生参加者が、泊りがけでフィールドワークやグループ研修等の活動をおこなう。 (宿泊場所: ネイバル森)
対象者	奥尻中学校生徒(2名)

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加人数 人	3	3	2	2	0
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	27	25	17	16	0
負担金	27	25	17	16	0

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">ランク</td> <td>今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため当初の予定だった7月下旬から11月に時期をずらして開催したため、学校行事と重なり不参加となった。中高生が、様々な地域の参加者と交流を図りながら、自分たちで地域の良さを活かすためのアクションプラン作り等を行うことは、地域の良さを客観的に見つめる視野や、ボランティア活動などの地域活動に主体的に参画する意欲・態度が身につく、青少年リーダーの育成に有効であると判断するので次年度以降も参加できるよう呼びかけていく。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td> </td> </tr> </table>	ランク	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため当初の予定だった7月下旬から11月に時期をずらして開催したため、学校行事と重なり不参加となった。中高生が、様々な地域の参加者と交流を図りながら、自分たちで地域の良さを活かすためのアクションプラン作り等を行うことは、地域の良さを客観的に見つめる視野や、ボランティア活動などの地域活動に主体的に参画する意欲・態度が身につく、青少年リーダーの育成に有効であると判断するので次年度以降も参加できるよう呼びかけていく。	B		
ランク	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため当初の予定だった7月下旬から11月に時期をずらして開催したため、学校行事と重なり不参加となった。中高生が、様々な地域の参加者と交流を図りながら、自分たちで地域の良さを活かすためのアクションプラン作り等を行うことは、地域の良さを客観的に見つめる視野や、ボランティア活動などの地域活動に主体的に参画する意欲・態度が身につく、青少年リーダーの育成に有効であると判断するので次年度以降も参加できるよう呼びかけていく。				
B					

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	青年教育				
ねらい	活動の中心的なリーダー性や意欲を引き出す取り組みを行なうことによって、地域に根差した人材を育成する。				
事務事業名	成人式・成人の集い				
事業実施日	令和2年8月12日（月・祝）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町
事業開始年度	不明
目的	社会組織の一員となることから、自覚と意識を持たせることを目的とする。
事業概要	町内の成人となる人を海洋研修センターに迎え式典を行う。また、成人の集いを開催する。
対象者	町内及び奥尻町出身の成人となる人

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者 人	30	28	16	27	18
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	237	238	220	222	100
賞賜金	118	117	130	130	15
食糧費	109	103	84	80	80
通信運搬費	10	10	2	6	2
消耗品費		8	4	6	3

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式の延期や中止も視野に入れ検討したが、一生に一度の行事なのでソーシャルディスタンスの確保等の感染予防対策を万全にした上で予定どおり開催した。また、フェリーのダイヤの都合上、写真撮影を業者ではなく役場情報サービス係に依頼した。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	成人教育				
ねらい	各社会教育団体に補助することにより、地域活動の推進、地域文化の振興を図る。				
事務事業名	社会教育団体への支援				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。
事業概要	PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体主催事業に対しサポートする。
対象者	奥尻町PTA連合会、奥尻町女性団体連絡協議会、奥尻町文化協会

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
児童生徒数 人	138	130	119	99	101
文化団体数	15団体、個人5人	15団体、個人3人	11団体、個人4人	12団体、個人4人	10団体、個人4人
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	430	430	430	357	105
補助金（PTA）	150	150	150	125	22
補助金（女連協）	130	130	130	121	34
補助金（文化協会）	150	150	150	111	49

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、思うような活動を行うことができなかった。。各団体自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。</p> <p>※すべての補助団体において、決算により発生した残金を返納してもらうこととした。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	スポーツ				
ねらい	各社会体育団体に補助することにより、地域活動の推進、スポーツ振興を図る。				
事務事業名	社会体育団体への支援				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。
事業概要	奥尻町スポーツ協会・奥尻町スポーツ少年団・奥尻町町民体育祭実行委員会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体の運営に対しサポートする。
対象者	奥尻町スポーツ協会、奥尻町スポーツ少年団、奥尻町町民体育祭実行委員会

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体協(スポ協)加盟団体数	11	9	9	9	9
スポ少加盟団体数	2	2	2	2	2
マラソン大会参加人数	326	232	雨天中止	246	新型コロナウイルス感染症 拡大のため中止
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健体育総務費	530	537	504	450	340
補助金【体協(スポ協)】	240	270	270	187	234
補助金【スポ少】	110	110	110	106	106
補助金【町体祭】	180	157	124	157	0

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、各団体は思うような活動を行うことができなかった。 スポーツ協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。</p> <p>※町民体育祭は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 ※「体育協会」は、H31.4.1より「スポーツ協会」に名称変更。</p>

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 (B)現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	第42回全町児童・生徒書道展				
事業実施日	令和3年1月30日（土）～2月7日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を養う。
事業概要	海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった書道作品を展示する。
対象者	小学校児童及び中学校生徒

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
作品数 点	140	129	114	97	100
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	57	83	25	42	47
報償費	54	81	23	40	44
費用弁償	3	2	2	2	3

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table>	ランク	C	<p>今年度は当初12月上旬に開催を予定していたが、奥尻島内で新型コロナウイルス感染症拡大したため延期とし、子ども美術展と同時に開催した。</p> <p>児童生徒の減少に伴い出展数も減ってきており、子ども美術展と同時に開催しても作品展示に支障が出なかったことと、作品数が増えたことで展示自体が見応えがあったとの意見があったことから、次年度は子ども美術展と同時開催する「子ども芸術展」として開催する。</p>
ランク			
C			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	祖父母も観覧しやすいように青苗開催を検討することとし、改善の上継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	第42回子ども美術展				
事業実施日	令和3年1月30日（度）～2月7日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	絵画による表現や鑑賞の機会を提供することにより、児童・生徒が創作する喜びや、作品を通して感動する心豊かな感性や情操を養う。
事業概要	海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった絵画作品を展示する。
対象者	小学校児童及び中学校生徒

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
作品数 点	140	139	130	169	170
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	87	60	52	57	62
報償費	82	55	47	52	57
費用弁償	5	5	5	5	5

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ランク</td> <td>今年度は、奥尻島内で新型コロナウイルス感染症拡大したため延期とした子ども美術展と同時に開催した。児童生徒の減少に伴い出展数も減ってきており、全町児童・生徒書道展と同時に開催しても作品展示に支障が出なかったことと、作品数が増えたことで展示自体が見応えがあったとの意見があったことから、次年度は全町児童・生徒書道展と同時開催する「子ども芸術展」として開催する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> <td> </td> </tr> </table>	ランク	今年度は、奥尻島内で新型コロナウイルス感染症拡大したため延期とした子ども美術展と同時に開催した。児童生徒の減少に伴い出展数も減ってきており、全町児童・生徒書道展と同時に開催しても作品展示に支障が出なかったことと、作品数が増えたことで展示自体が見応えがあったとの意見があったことから、次年度は全町児童・生徒書道展と同時開催する「子ども芸術展」として開催する。	C	
ランク	今年度は、奥尻島内で新型コロナウイルス感染症拡大したため延期とした子ども美術展と同時に開催した。児童生徒の減少に伴い出展数も減ってきており、全町児童・生徒書道展と同時に開催しても作品展示に支障が出なかったことと、作品数が増えたことで展示自体が見応えがあったとの意見があったことから、次年度は全町児童・生徒書道展と同時開催する「子ども芸術展」として開催する。			
C				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	祖父母も観覧しやすいように青苗開催を検討することとし、改善の上継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	奥尻岬巡りツアー				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成27年度
目的	奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。
事業概要	島内の史跡や観光地を巡りながら、島の情報を発信し、相互の親睦を図り、これからの島での活動につなげていってもらう。
対象者	全町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者数 人	22	19	14	26	中止
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	12	10	9	14	0
食糧費	12	10	9	14	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となったが、新しく島に来る人にとってはとても有意義な事業であり、今後もこの方向性で展開していく。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	児童芸術鑑賞事業				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	日頃舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童生徒に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。
事業概要	児童を対象に、小学校体育館を活用し、児童劇、音楽隊などの芸術団体を招き、鑑賞する。文化庁が実施している巡回公演（経費は全額文化庁が負担）と北海道巡回小劇場（道から1/3補助）どちらかを実施。
対象者	町内小学生

3.実施状況

数値等で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
巡回小劇場	イキイキワクワク音楽会（音楽）	陽気なハンス（演劇）			
巡回公演		パントマイム	テレマンオーケストラ	風の子バザール	めばえ寄席〇〇亭→中止
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	300	300	0	0	0
負担金	300	300	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ランク</td> <td>今年巡回公演「めばえ寄席〇〇亭」が採択になったが東京から来る団体だったため新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。</td> </tr> </table>	ランク	今年巡回公演「めばえ寄席〇〇亭」が採択になったが東京から来る団体だったため新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	B	来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。	
ランク	今年巡回公演「めばえ寄席〇〇亭」が採択になったが東京から来る団体だったため新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。				
B	来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	スポーツ				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	令和2年度佐藤義則杯野球大会				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成元年
目的	郷土の星、東北楽天ゴールデンイーグルス投手コーチ（元オリックスブルーウェーブ投手）「佐藤義則」氏の功績をたたえるとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。
事業概要	町内の野球団体の参加をいただき、野球大会を開催することにより、野球振興の活性化を図る。
対象者	町内野球団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加チーム数 チーム	3	4	4	3	中止
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健体育総務費	53	56	53	60	0
報償金	24	42	40	45	0
賞賜金					0
消耗品	14	14	13	15	0
食糧費	15				0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止したが、町内野球団体（奥中・奥高野球部を含む）による野球大会として、野球愛好会を軸に展開しており、町の野球振興の活性化につながっている。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	檜山管内スポーツフェスタ（町内開催）				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成13年度
目的	町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。
事業概要	檜山管内スポーツフェスタとしてゲートボール競技を開催する。
対象者	管内スポーツ団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加町数 町	4	7	0	3	中止
参加人数 人	23	67	0	29	中止
競技名	卓球	パークゴルフ	バレーボール	ゲートボール	卓球
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>町外から2町参加、当町含め5チームで開催。当日悪天候により体育館で実施。</p> <p>町内の競技人口の減少により、奥尻町で開催される種目が限られてきている。</p> <p>他町の事情も同様で、奥尻開催の場合は宿泊を伴うので、早い段階から各町愛好団体との調整が必要。</p> <p>近年、どの年代、どの種目においても奥尻町内で開催される檜山管内規模のスポーツ大会は他にない。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	檜山管内スポーツフェスタ（町外開催）				
事業実施日	-				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成13年度
目的	町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。
事業概要	檜山管内スポーツフェスタとして、町外の大会に参加する。
対象者	管内スポーツ団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加競技数	3	1	1	1	1
	ゲートボール	ゲートボール	ゲートボール	バドミントン	ゲートボール
	パークゴルフ、バドミントン				
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健体育総務費	173	113	97	71	115
負担金	173	113	97	71	115

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ランク</td> <td>各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">B</td> <td>他の種目については、近年、選手層の薄さや開催時期、フェリーのダイヤの問題で参加が難しくなっている。</td> </tr> <tr> <td>奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど、開催町への働きかけが必要。</td> </tr> </table>	ランク	各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。	B	他の種目については、近年、選手層の薄さや開催時期、フェリーのダイヤの問題で参加が難しくなっている。	奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど、開催町への働きかけが必要。	
ランク	各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。					
B	他の種目については、近年、選手層の薄さや開催時期、フェリーのダイヤの問題で参加が難しくなっている。					
	奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど、開催町への働きかけが必要。					

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	第44回町民スキー大会				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	昭和49年度ころ
目的	スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。
事業概要	町内の小中学生を中心にしたスキー、スノーボードの大会を開催する事業。
対象者	町内小中高生・一般

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者 人	69	58	41	中止	中止
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健体育総務費	183	187	148	0	0
報償費	101	98	101	0	0
消耗品	28	35	12	0	0
燃料費					
食糧費	54	54	35	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">B</td></tr> </table>	ランク	B	冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	学校等体育館・グラウンド夜間開放事業				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	町民の身近なところで、気軽にスポーツを楽しめるよう、学校の体育施設を開放する。
事業概要	各愛好会のスポーツ振興のため、各学校施設の体育館、グラウンド、町民センター体育館を町民に開放する。
対象者	町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育館利用団体 チーム	23	18	18	17	17
グラウンド利用団体 チーム	2	2	2	2	2
収入 円	237	186	131	164	180
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育施設費	159	195	200	193	108
報酬	20	20	20	0	0
賃金	139	175	180	193	108

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	ランク	B		<p>今年度は年度当初の緊急事態宣言発令や11月下旬からの奥尻島における新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した期間があった。</p> <p>利用の需要は高く、可能な限り開放を展開していきたい。</p> <p>学校体育館の管理人について、各小学校の教頭もしくは校長にお願いしているが、働き方改革の視点からも負担を軽減する措置が必要ということから、今年度から月曜日から金曜日の間にある祝日については開放なしとすることを年度当初の利用者抽選会議で確認。</p>
ランク	B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	スキー場開放事業				
事業実施日	令和3年1月9日～令和3年3月7日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。
事業概要	桜ヶ丘スキー場の冬期間解放。
対象者	一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
リフト券購入者 人	76 (高校生以上)	67	70	20	60
延べ利用者 人	2148 (中学生以下含む)	1913	1393	67	1950
オープン期間 日	56	58	54	3	55
収入 円	158	136	164	41	166
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育施設費	2,570	2,180	2,078	1,068	2,329
賃金	1,577	1,364	1,084	372	1,403
消耗品費	53	15	44	42	27
燃料費	86	90	99	37	100
光熱水費	254	257	247	180	252
修繕費	184	26	188	7	0
手数料	0	2	0	3	0
火災保険料	41	42	15	15	14
通信運搬費	8	6	6	0	0
委託料	313	324	341	358	352
使用料	54	54	54	54	54
備品購入費					127

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	冬季のスポーツ振興の一角を担っている事業。 スキー場が整備されている強みを生かし今後も上手に活用していくべきである。 スキーヤーが楽しく安全に滑走するため管理人とスキー愛好会との連携が必須になる。
B	

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	第27回教育長杯グラウンドゴルフ大会				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成6年度
目的	誰にでもできるスポーツのグラウンドゴルフの普及と技術の向上をめざし、相互の親睦と体力の増進を図る。
事業概要	グラウンドゴルフの大会を開催する。
対象者	小学生～一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者 人	49	29	53	43	中止
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健体育総務費	51	33	28	40	0
報償費	37	33	28	40	0
食糧費	14	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	ランク	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 一定の参加者が見込めるうちは、会場を変えるなど工夫を凝らしながら開催していく。
ランク			
C			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	開催場所の検討など改善の上継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	町民スキー教室				
事業実施日	令和3年1月24日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 奥尻町スキー愛好会
事業開始年度	不明
目的	スキー技術の向上、スキー人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を深める。
事業概要	桜ヶ丘スキー場にて、奥尻町スキー愛好会の協力を得て、スキー教室を開催する。
対象者	全町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者 人	34	52	36	中止	44
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健体育総務費	57	55	57	0	50
報償費	50	50	50	0	50
食糧費	7	5	5	0	0
消耗品			2	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	スキー授業が始まる前にレッスンを受けたい児童や教員が多いので、今後も展開していく。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山崎 和 範	担当	桜花 晶子
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	地域の多様な人材、企業等に参画していただき、学校では経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。				
事務事業名	おくしりチャレンジスクール				
事業実施日	土曜日を中心に年5回（2事業新型コロナウイルス感染症拡大のため中止、1事業昨年中止になったものを実施）				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 学校支援ボランティア登録企業・機関・団体
事業開始年度	平成29年度～
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを支援する気運の醸成 ・青少年の生きる力を育む ・地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等の構築
事業概要	・年に5回、地域の資源や人材を活用し、様々な体験事業を開催する。
対象者	幼稚園児・小学生・中学生・高校生・保護者

3.実施状況（継続事業を除く）

数値で表せる指標	おくしり自然塾～草花編～	ファミリーフォトラリー	DIYリベンジ	OIDと活動	スキー教室
参加者 人	22	11	37	18	65
予算支出 千円	おくしり自然塾～草花編～	ファミリーフォトラリー	DIYリベンジ	OIDと活動	スキー教室
社会教育総務費	6	19	33	4	0
報償費	0	0	21	0	0
食糧費	0	0	0	0	0
消耗品	6	19	12	4	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	それぞれの事業の反省を生かし、継続していきべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	図書室の取組による読書活動の推進及び図書室利用者増加。 ボランティアによる町民の主体的な町づくり意識の育成。				
事務事業名	うみいろC a f e				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア
事業開始年度	平成28年度～
目的	図書室をカフェとして開放することをとおして、気軽に図書室を利用してもらい、奥尻町海洋研修センター図書室を知ってもらうと共に、日常的な利用者増加を図る。
事業概要	一日だけ図書室をカフェとして開放するとともに、読みきかせや自由工作などのイベントを行う。
対象者	一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者 人	100	95	133	50+120	0
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	—	11	15	23	0
報償費					
食糧費		10	13	21	0
消耗品		1	2	2	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、今後も図書室利用拡大に向け継続すべき事業である。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	山 崎 和 範	担 当	桜 花 晶 子
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	親子の健やかな成長の促進、家庭を見守る地域の支援体制作り 家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進				
事務事業名	ブックスタート				
事業実施日	6月20日(土)、9月5日(土)、1月23日(土) (町乳幼児検診と合わせて実施)				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア
事業開始年度	平成28年度～
目的	子どもたちの心の健やかな成長を願い、乳幼児期より絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かにし、子どもと保護者の心の健康作りと地域における子育てを支援する。
事業概要	初めての乳幼児検診時にすべての赤ちゃんと保護者に読みきかせをしながら絵本を手渡す。
対象者	初めての乳幼児検診対象者とその保護者

3.実施状況

数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者 人	23名	16名	15名	13名	12名
予算支出 千円	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会教育総務費	21	16	17	17	15
報償費					
食糧費					
消耗品	21	16	17	17	15

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	アンケートの結果、本をプレゼントすることで、家庭で本を読む機会が増えている様子が見え、これから、今後も事業を継続していく。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。